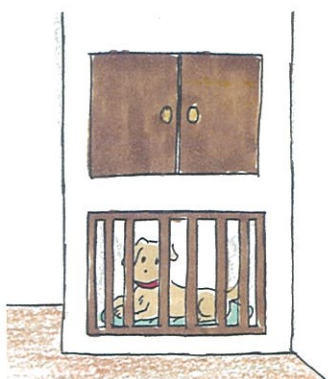




## 愛犬の居場所と、暮らし心地を良くする工夫。

室内で愛犬と暮らすために考えなければならない「愛犬の暮らしやすさ」には、大きく分けて、「居場所」と「生活のしやすさ」があります。愛犬にとって「自分の居場所」があるということは精神的にも安定するもので、なるべく家族の姿が視野に入る場所にスペースを確保してあげることが望ましいと言われています。今回のお宅では、キッチン横のスペース（階段下のスペース）を有効活用し、愛犬がいつでも家族の気配を感じながら寛げる居場所を確保しました。また、上部の大きな収納スペースには、愛犬のためのグッズを収納でき見た目もスッキリした愛犬のためのスペースとして生まれ変わりました。

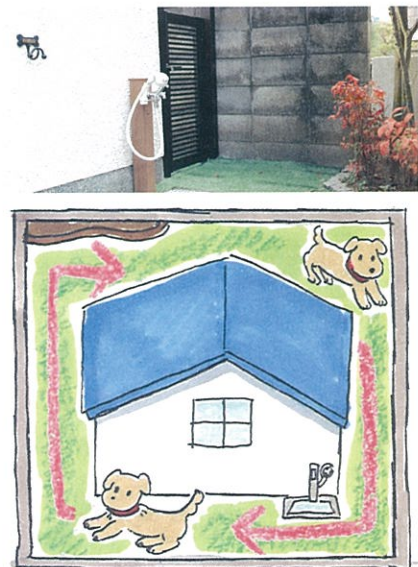
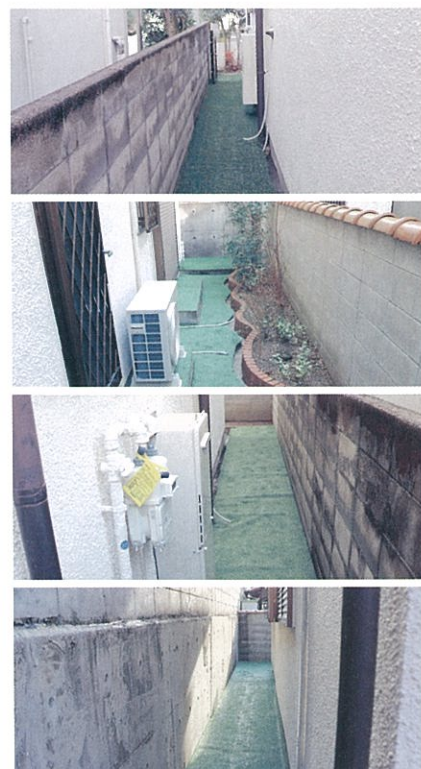
もう1つ、気を付けたいものに「床材」があります。中古住宅の床は古く損傷や汚れが目立つものが多いため、愛犬が怪我をすることもあります。そういったことへの配慮から、愛犬が生活する1階部分の床材には、汚れや傷がつきにくく、消臭機能のある床材を使用し、人にも愛犬にも優しい空間を作りました。



## お庭のない一戸建てでも、「簡単にできる小さなドッグラン」でストレス軽減!

お庭の広い中古住宅を購入される場合は自由に走り回れるスペースを十分確保できるので問題ありませんが、立地の良い環境に建つ一戸建てではお庭が無いといったケースがしばしばあります。今回の建物もお庭が無く、愛犬にとっては少々ストレスが溜まってしまいう懸念がありました。そこで、少しでも愛犬のストレスを軽減させてあげられるよう、建物の周りを整理し、狭いスペースながらも、家の周りを一周できるドッグランを造ることにしました。人工芝を敷くことによって、愛犬の足への負担を軽減することができ、メンテナンスでは、天然芝のような芝刈りや肥料散布などの手間もないため、メリットがいっぱいです。

また、玄関の横には洗い場を造作し、散歩帰りの汚れも落とせるように工夫しました。



隣地との幅が狭く、お庭の無いお家でも工夫次第で小さなドッグランを造ることが可能。水栓を付けることで汚れも水遊びも出来るようになりました。



▲愛犬も洗える洗面化粧台 Bonito 900 幅タイプ

## 通常のリフォームにちょっとプラスするだけで、「人も愛犬も快適な空間」へ。それが愛犬家住宅リノベーション。

中古住宅を購入して行うリフォームの1つに水廻りの設備を一新するケースがありますが、愛犬家住宅リノベーションであれば、洗面台も愛犬のために開発されたものを設置することが可能になります。一戸建てに暮らす多くの愛犬家は浴室でシャンプーをしてドライヤーをするため、姿勢が大変ですが、この洗面台であれば立ったままお手入れができ、洗面横の収納も愛犬家にうれしい特別仕様で使い勝手も良くなりました。

その他にも、キッチンに愛犬が入れないようにするフェンスやダイニングにある収納棚にちょっとした工夫を施して、家族団楽の食事も愛犬と一緒に楽しめ、片付けも簡単に出来るようになりました。

家族と愛犬の生活スタイルを事前に考え、「愛犬の安心

できるテリトリー」、「人と愛犬が一緒に暮らす共有スペース」そして、「愛犬が入れない、人のプライベートスペース」を造ることによって、お互いが快適に暮らすことのできる「愛犬家住宅」が出来るようになります。

リノベーションでは、限られたスペースで家族の想いをカタチにしなければならないため、工夫やアイデアがとても大切になります。そのためには、「人も愛犬も快適な空間」といった1つのテーマに絞り、そのために何が出来るかを考えることが、家族の想い描いたマイホームを手に入れることにつながるのではないのでしょうか。



設計・愛犬家住宅コーディネーター 佐藤 朋子



## 愛犬と幸せに暮らす住まいの本

A5判128ページ(オールカラー) 定価:本体1,500円+税  
愛犬家住宅[編] PHP研究所[刊]

「床の滑り」「ニオイ」「キズ・汚れ」...  
だけじゃない!



家づくりのヒントとなる21の事例を紹介

